

## 施設新設・改修に伴う AV 機器の整備(新座)

### 1. 概要

2011 年より開始した改修計画もそろそろ終盤を迎え、件数も前年度に比べて大幅に減少した。今回の整備では旧システムの改修となった。6 号館 2 階・3 階の旧 PC 教室より 8 号館に移設、継続使用していたプロジェクターなど、比較的長い期間使用の機器もあり、一部ではそろそろ利用の限界も感じていた。その様な内容も含め、以下に今回の改修工事明細を示す。

#### 【改修工事明細－実施教室】

- (1). 一般演習室・・・N325・N336
- (2). PC 教室・・・・・・N821・N823
- (3). 中規模教室・・・・N331
- (4). その他・・・・ユリの木ホール(ステージボックス)・体育館演習室 (NT21～24)

### 2. 各部屋のシステムについて

#### (1). 一般演習室演習室 (N325・N336)

N325 の基本構成は、AV ワゴン及び 50 型プラズマスタンドで構成され、更に書画カメラワゴンが付属される。ワゴン内機器等は、前年度改修の 2 号館演習室システム機器と同じデジタルマルチスイッチャーを中心とした HDMI 出力のシステムで構成されている。又コンテンツ入力として、PC・ブルーレイ・書画・DVD・その他外部入力機器などがある。

N336 教室は、プロジェクター及び 120 型ワイド画面のスクリーンを使用したシステムとなり、メインとなるスイッチャーやその他のシステム等は、N325 教室とほぼ共通である。

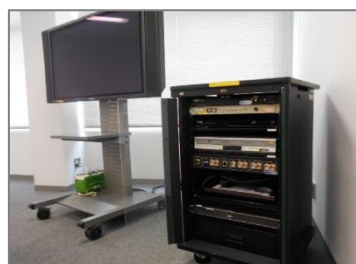


図 1 : N325 機器



図 2 : N336 全景



図 3 : N336 機器

## (2). PC 教室 (N821・N823)

概要にも述べたとおり 6 号館の教室より移設したプロジェクター・アンプ・スイッチャー類を引き続き利用していたので、今回一新した。当初より既に設置済みの 120 型ワイドスクリーンや、ワイド画面センターモニター上に 4:3 画像を投影していたが、これらもワイド画面映像に改善された。特に N821 教室は 88 人席として、44 台のセンターモニターへ HDMI 信号をそれぞれ送出している。又その他の表示器としては、プラズマモニターが後方席天井に 2 台設置され、今回も継続利用されている。

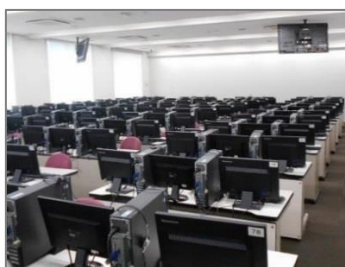


図 4 : N821 全景

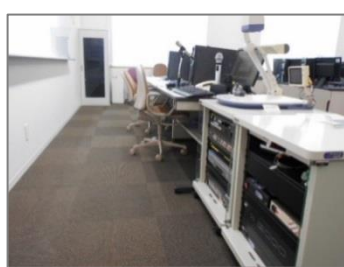


図 5 : N821 機器

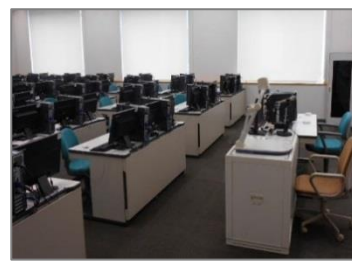


図 6 : N823 全景

## (3). 中教室 (N331)

全般的に機器の利用期間が長く、中でもプロジェクターなどはハイビジョン対応型の初期製品である。当時はハイビジョン映像がスタートしてまだ日が浅く、同テレビジョンやブルーレイ機器が高嶺の花の時代、教室の 150 型大画面スクリーンに映し出されるハイビジョン映像は、すごく繊細的であった記憶が忘れられない。この様な思いの中で、今回のプロジェクター選びにも慎重にならざるを得なかった。結局、いろいろな意見を参考にして、話題のレーザープロジェクター導入を決定した。このプロジェクターの特徴として、起動時間・メンテナンス性・色再現性などが優れているとの事であるが、中でも起動時間では従来機器から比べると、その速さには驚いた。又ランプ交換も必要としないので、メンテナンス性も経済的である。ただし色再現性については、特にそれ程の効果は感じられなかった。その他の特徴として、今回外部入力ソースの中に HD-SDI 入力を設けた。3G 対応なので、映像系学部方面の利用として選択の幅が広がるであろう。又表示器として従来から利用している PDP 表示器を今回も継続利用する事とした。N821 教室と同じく、後部席天井に 2 台設置済みである。新座では PDP は演習室等で現在でもかなり利用されている。中でも 2 号館では、10 年近く使用している教室もあり、非常に寿命の長い機器の一つであると感じている。



図 7 : N331 全景



図 8 : N331 機器

(4). ユリの木ホール(ステージボックス) ・ 体育館演習室 (NT21～24)

主に学生団体が利用する多目的スタジオである。演劇やバンドの練習などで、利用もフルスケジュールの場合が多い。1階がスタジオ・2階が照明や音響の調整室となっている。映像装置はなく、音響と調光のシステムのみである。今回アンプやスピーカーなどの改修を行い、音質もフレッシュなサウンドに甦った。又外部入力機器接続の範囲を拡大するため、入力コネクタの数も増やした。

最後に体育館演習室設備であるが、これは現在他の教室すべてにブルーレイプレーヤーが設置されている中、体育館だけは設備がなかった。そこで今回ブルーレイディスクが利用できるようにシステムを見直し、機器の設置をした。なお、従来システムの関係上、表示はHDMI から RGB に変更となってしまった。



図 9 : ステージボックス全景



図 10 : ステージボックス機器



図 11 : 体育館演習室機器

3. 2015 年度新座 AV 機器整備を完了して

今回 AV 機器の整備が無事完了した事となるが、ここでシステムの更新に携わった一員として特に意識した点や苦勞した点など、いくつか感想を述べてみたいと思う。

- (1). 今回は設置後かなりの年月が経過した機器を使用していたため、いつ故障が起きたとしても不思議ではないが、幸いな事にほとんどの機器がノントラブルであった。但し画像や音質の劣化等は隠せない。改めて他教室長期利用機器の無事を祈りたいものである。
- (2). 新座の設計ポリシーの一つに、なるべく機器や操作パネルを各部屋共通にする項目を掲げているが、今回も昨年の 2 号館・3 号館演習室大改修時と同じ内容で実施され、操作性の質をキープ出来たと思われる。
- (3). ユリの木ホールステージボックスでは改修に当たり、学生の要望を学生課経由にてヒアリングした。又利用者が学生専用となるため、操作性や耐久性の面も考慮して、製作や工事を行った。
- (4). N331 教室プロジェクターにレーザー仕様を採用したわけであるが、起動時間の速さに驚いたことは前述の通り、更にその他の内容として、今後メンテナンスフリー項目でのコストダウン等にも期待をしてみたい。
- (5). 2 号館・3 号館演習室は、一部の PDP システムを残して古い部屋はすべて改修工事が完了し、HDMI デジタル出力となった。そのため画質や音質の向上を図る当初の改修目標が実現され、安堵の思いである。